



今日からしめよう シートベルト！

7月1日から8月末日までは、シートベルト着用推進運動が展開されます。シートベルトは安全へのパスポートです。夏は交通事故が多発します。車を運転される方は、十分交通安全に心がけ、またシートベルトを着用するようにしましょう。

頼りになります シートベルト

運転免許を持っている、いないにかかわらず、十人のうち八人が交通事故の際のシートベルトの効果について、死者や重傷者を少なくするのに「役立つ」と答えています。（総理府・世論調査）

しかし、その半面、シートベルトの着用率は低く、高速道路では運転者、助手席同乗者とも約二〇パーセント、一般道路ではわずか一〇パーセント台というのが実情です。「わかっているけど、着用しない」——その理由をみると「面倒だから」が最も多く、次で、「きょううくつだから」「自分は安全運転しているから大丈夫」などとなっています。

しかし、面倒だから、わずらわしいからといって、一つしかない命を危険にさらすのは、あまりにも「無謀」といえないでしょう。それに、シートベルトを着用するものがそんなに面倒なことなんか、また、自分さえ安全運転していれば本当に大丈夫なのが、このような言い分を一つ一つ再点検しながら、改めてシートベルトの着用効果について考えてみましょう。

夏は暑さからくる心身の疲労や、マイカーによる帰省客が多くなり、例年交通事故が増加する季節です。

シートベルトの 着用効果



子供の事故防止

子供の交通事故原因で一番多いのは「飛び出し」で6割を占めます。次いで「自動車の直前直後の横断」「信号無視」「路上遊戯」の順となっています。

夏休みは、ふだんに比べて家の外で遊ぶ時間が長くなります。

お子さんには次のようなことを教えてあげてください。

▷ 飛び出すな——細い道から広い通りに出るときは、手前で立ち止まりましょう。

▷ 信号の意味を知ろう——信号が黄色に変わったら、つぎの青まで待ちましょう。

▷ 車は後ろにも動く——自動車の周りでは遊ばないように。

7月16日・31日、8月10日・30日
マシートベルト着用指導日



七月と八月の二ヶ月間は、全国的に「シートベルト着用推進運動」が実施されます。この一環として期間中市内各地でシートベルト着用指導を行われます。

二輪車の 事故防止

二輪車乗車中の死亡事故を見るところ、死亡原因の六五パーセントが頭部を強く打ったことによるものです。このことからも、ヘルメットをかぶらないことがどんなに恐ろしいかが分かります。自動二輪車に乗るときは、乗用ヘルメットの着用が義務づけられていますが、原動機付自転車（ミニバイク）に乗るときも、必ずヘルメットをかぶるようにしましょう。

二輪車の事故防止。特に事故の多い交差点での安全走行に心がけ次のこと注意しましょう。

- 前後左右をよく確かめましょう
- 右折は、ゆずりありの精神で
- 四輪車とは一緒に左折しない
- 気くばり運転が大切

59全国高校総体「ウェイトリフティング」 8月1日～4日

ようこそ ふれあいの街 大館へ

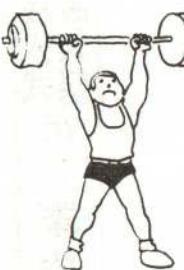
選手役員団 「歓迎のタペ」

とき・7月31日(火) 午後5時30分

ところ・市民文化会館大ホール

◆地元出場選手 全国の高校生を歓迎し、激励を

お願いします。



競技日程

月日	時	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8月1日 (水)	開会式	52kg級	56kg級							
2日 (木)		60kg級	67.5kg級							
3日 (金)		75kg級	82.5kg級							
4日 (土)		90kg級	100kg級	閉会式						

◆大会記録は

テレホンサービスで

☎49~1811